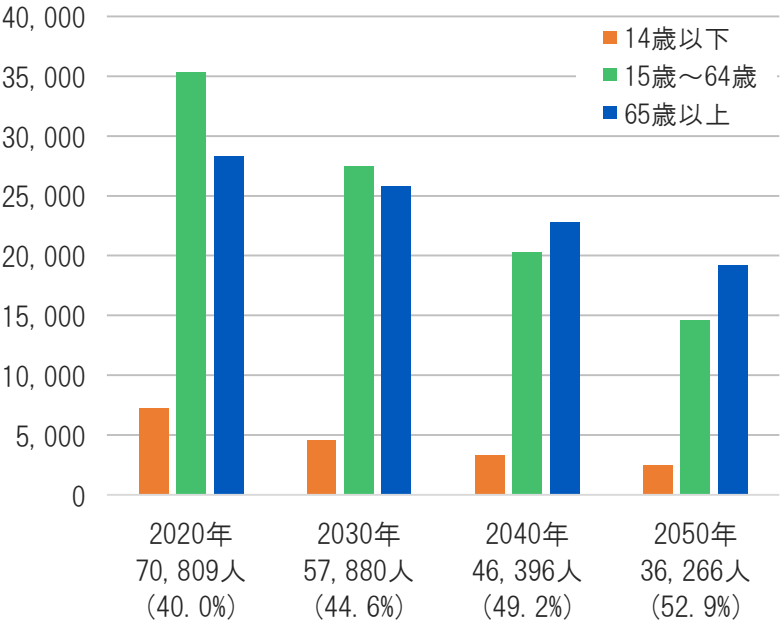


第2期 宇和島市DX推進計画 概要

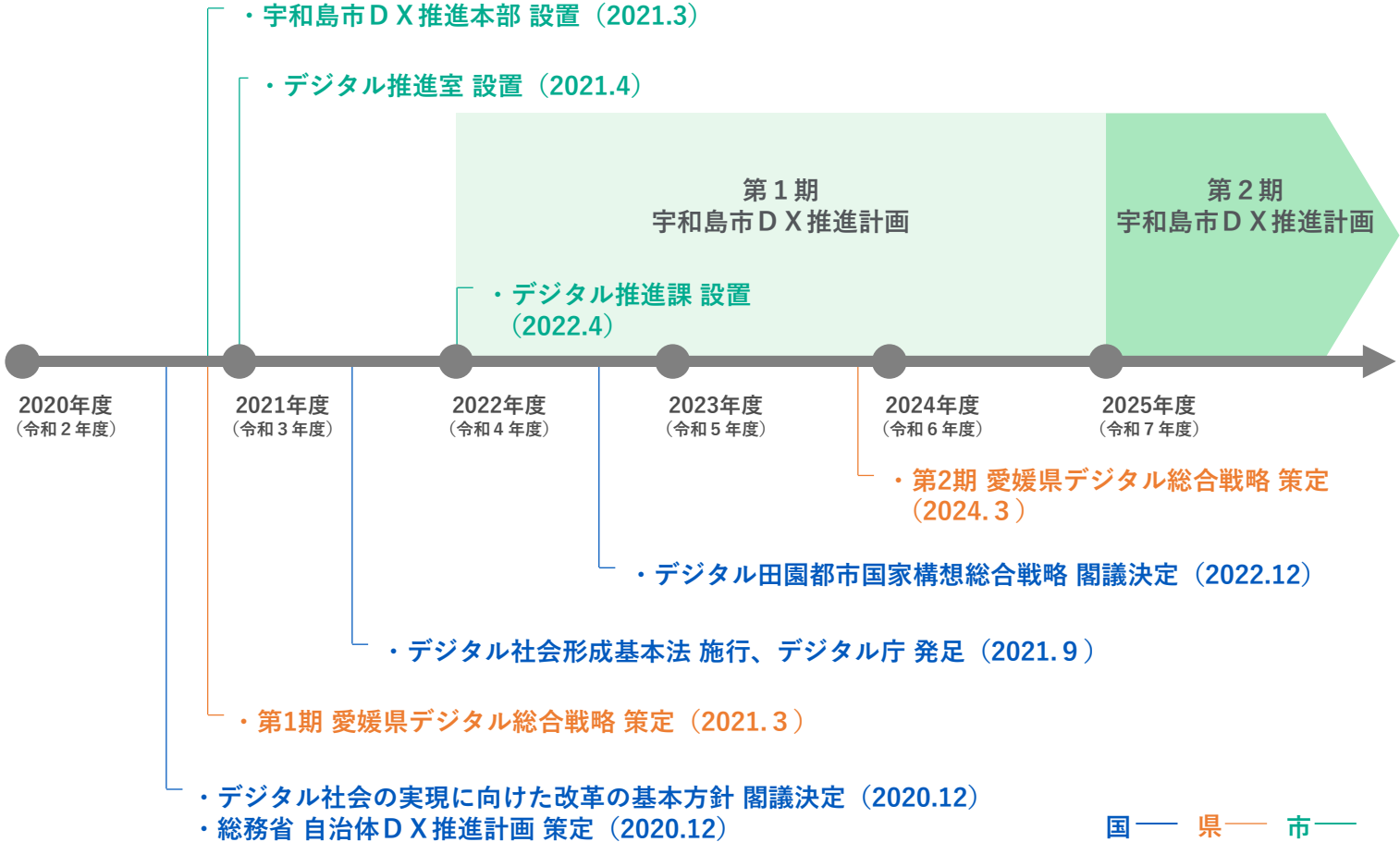
(1) 「本市が直面する課題」と「DX推進に向けた動き」

▶ 人口減少や高齢化の急速な進展をはじめ本市が直面する課題に対応する上で、DXの推進が極めて重要であるという認識から、体制の整備・強化に取り組んでいる。

本市の人口推移（年齢構成別）

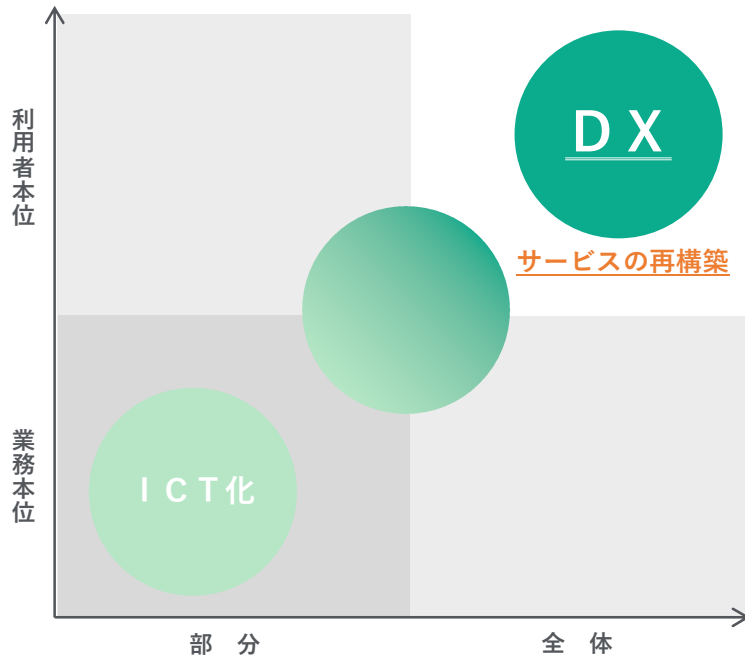


【出典】人口及び高齢化率
↳ 2020年は国勢調査の確報値
2030年以後は国立社会保障・人口問題研究所の
2023年推計値



(2) 「D Xの定義」と「計画の位置づけ」

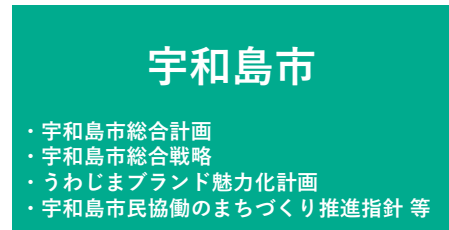
- ▶ 直面する課題への対応とともに、新たな価値の創出に向けてD Xに取り組み、まちづくりの基本的方向に沿って、本市の施策の展開を強力に後押しする。



本計画におけるD Xの定義

「地域社会や行政が直面する課題に対応するため、デジタル技術の有効な活用を図り、新たな価値を生み出すことで未来を切り拓くこと」

計画の位置づけ



目指す将来像
選ばれるまち

(3) 「これまでの主な取り組み」と「アンケート結果」

▶ 第1期計画期間において、以下の事業をはじめ市民サービスの向上や地域の活性化、行政運営の効率化に取り組んだ結果、庁内外から一定の評価がある一方で、さらなる推進が求められている。

地域社会

- ①生活・支援
 - ▶ 公民館等のWi-Fi整備
 - ▶ デジタル相談窓口の開設 等
- ②健康・子育て
 - ▶ 一人暮らし高齢者等の見守り支援・遠隔診療
 - ▶ 病院局における医療・患者サービスの向上 等
- ③教育・学習
 - ▶ 小・中学校ICT環境の整備
 - ▶ 電子図書館サービスの充実 等
- ④リスク対応
 - ▶ 罹災証明発行の迅速化
 - ▶ 個別避難計画作成支援アプリの導入 等
- ⑤産業・経済
 - ▶ スマート農機導入の支援
 - ▶ シマアジ養殖AI給餌器実装事業への参画 等
- ⑥魅力向上
 - ▶ 外部人材を活用したシティセールス推進の強化
 - ▶ 移住相談・空き家調査の強化 等

行政

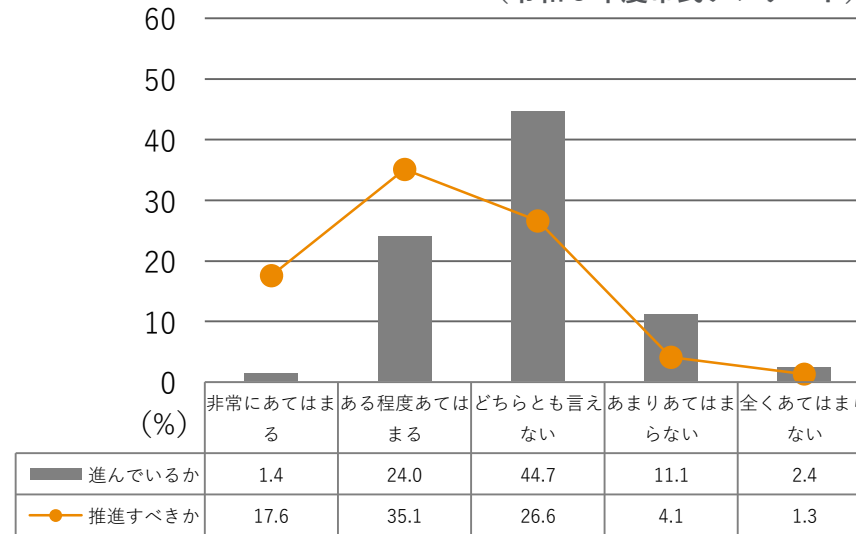
- ⑦行政手続
 - ▶ オンライン手続の推進、窓口サービスの充実
 - ▶ マイナンバーカードの普及促進 等
- ⑧行政事務
 - ▶ ペーパーレス化の推進、電子決裁システムの導入
 - ▶ ガバメントクラウド先行事業 等

推進基盤

- ⑨推進基盤
 - ▶ 電子地域ポイントの導入
 - ▶ 外部人材を活用したDX推進基盤の充実 等

■市の行政サービスのデジタル化について

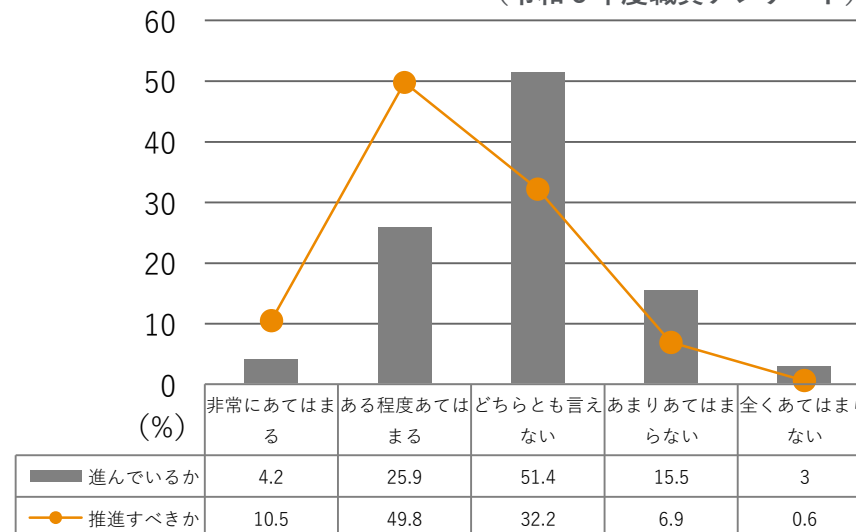
(令和6年度市民アンケート)



▶ 市の取組について、市民から一定の評価を得ているが、デジタルサービスが地域に広く浸透しているとは言えない。行政サービスのさらなる向上に向け、デジタル化の一層の推進が求められている。

■所管業務のDXについて

(令和6年度職員アンケート)



▶ 庁内のDXについて、ある程度進んでいるとの評価がある一方で、課題も少なくない。さらなるDXの推進に向け、取り組みの強化が求められている。

(4) 第2期計画の「基本的事項」

- ▶ 第2期計画では、第1期計画の基本方針等を踏襲するとともに、現状を踏まえて分野別体系や計画の進め方を整理し、DXの取り組みの拡充を図る。

基本的事項



基本方針

市民本位

連携・協働



対象

地域社会

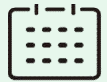
行政

推進基盤



目的

基本方針に基づき、関係分野においてDXを推進し、宇和島市の未来を切り拓くこと

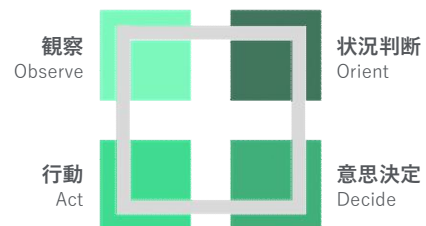


計画期間

2025年4月～2028年3月（3年間）

計画の進め方

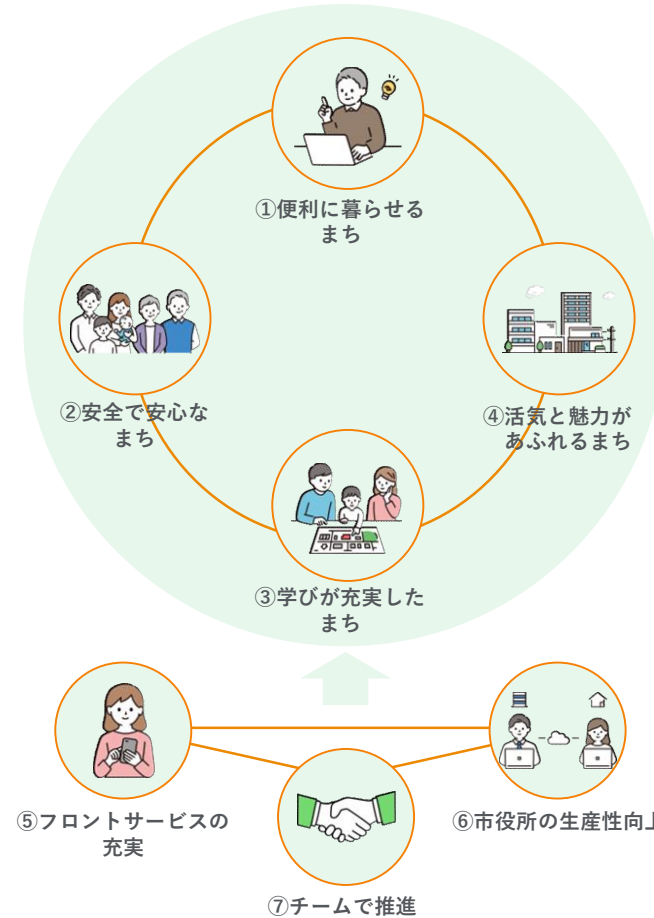
OODAループ



- ▶ 近年の社会情勢の急速な変化やデジタル技術の進化を踏まえ、従来のPDCAサイクルに加え、変化する状況を見極めながら手段や取り組みを適宜変更していくOODA（ウーダ）ループも活用し、DXを効果的に推進する。

分野別体系

<イメージ>



【地域社会】

①暮らし

～便利に暮らせるまち～

②安全・安心

～安全で安心なまち～

③教育・学習

～学びが充実したまち～

④地域振興

～活気と魅力があふれるまち～

【行政】

⑤行政手続

～フロントサービスの充実～

⑥行政事務

～市役所の生産性向上～

【推進基盤】

⑦推進基盤

～チームで推進～

※「第2次宇和島市総合計画後期基本計画(2023.4策定)」で定める施策を全般的に後押しできるよう地域社会を6分野から4分野に再編統合した。

(5) 第2期計画の「分野別の取組」

- ▶ 第2期計画では、「選ばれるまち」の実現に向け、7つの分野においてDXの推進に取り組む。

①暮らし

～便利に暮らせるまち～



- ▶ 情報通信基盤の充実
- ▶ デジタルデバйд対策の強化
- ▶ 広報の充実
- ▶ 公共交通の利便性向上
- ▶ 環境施策の推進

②安全・安心

～安全で安心なまち～



- ▶ 防災・減災対策の強化
- ▶ 感染症対策の強化
- ▶ 健康づくり・医療サービスの充実
- ▶ 母子支援の充実
- ▶ 子育て支援の充実
- ▶ 障がい者支援の充実

③教育・学習

～学びが充実したまち～



- ▶ 学校教育の充実
- ▶ 生涯学習の促進
- ▶ 文化振興の推進
- ▶ スポーツ活動の促進

④地域振興

～活気と魅力があふれるまち～



- ▶ 農林業の振興
- ▶ 水産業の振興
- ▶ 商工業の活性化
- ▶ 観光振興の推進
- ▶ インフラ整備の推進
- ▶ シティセールスの推進
- ▶ 移住・定住の促進
- ▶ 若者地元定着の促進

⑤行政手続

～フロントサービスの充実～



- ▶ オンライン化の推進
- ▶ 窓口サービスの向上

⑥行政事務

～市役所の生産性向上～



- ▶ 業務の効率化・高度化
- ▶ 勤務環境の整備

⑦推進基盤

～チームで推進～



- ▶ 庁内の体制強化
- ▶ 市民協働・庁外連携の推進

(6) 第2期計画の「重点取組項目」

- ▶ 第2期計画では、第1期計画において地域団体の意見を踏まえて設定した3つの重点取組項目をさらに拡充し、「選ばれるまち」の実現を後押しする。

1

地域社会におけるデジタル活用の浸透

誰もがデジタル化による利便性と可能性を実感できるように、地域におけるデジタル活用の浸透を図ります。

①デジタルサービスの充実

②協働のまちづくりの推進

③デジタル活用の支援



2

行政 デジタル化のさらなる推進

総務省「自治体DX推進計画」における重点取組事項等を推進し、住民サービスの向上と行政事務の効率化を進めます。

①自治体フロントヤード改革の推進

②マイナンバーカードの普及促進・利用推進

③自治体情報システムの標準化・共通化

④データ利活用の推進（EBPM）

⑤セキュリティ対策の徹底

⑥公金収納におけるeLTAXの活用

⑦自治体のAI・RPAの利用推進

⑧テレワークの推進

3

X（変革）を重視したDX 推進基盤の強化

地域社会や行政における中長期的なDX（デジタル変革）の推進や関連施策の充実を図るため、デジタルだけでなく変革にも取り組む人材を育成するなど推進基盤を強化します。

①DX人材の強化

②さらなる生産性の向上

③庁外との連携の強化

